

加西市議会 9月定例会が開会中

市議会定例会は9月1日に開催され、市長が上程した34議案のうち、次の5議案については即日採決が行われました。残る議案については現在審議中で、決算認定を除いて9月24日最終日に採決される予定です。

- 議案第63号 副市長（東郷邦昭氏）の選任につき同意を求めることについて（同意）
- 議案第64号 加西市監査委員（小谷融氏）の選任につき同意を求めることについて（同意）
- 議案第65号 加西市監査委員（井上芳弘氏）の選任につき同意を求めることについて（不同意）
- 議案第66号 加西市公平委員会委員（是常耕作氏）の選任につき同意を求めることについて（同意）
- 議案第67号 加西市教育委員会委員（笠沙知章氏）の任命につき同意を求めることについて（不同意）

■5議案の採決結果（9月1日） ※議員名は議席順で敬称を略しています。○は賛成、×は反対を表しています。

議員名	議案第63号 副市長の選任	議案第64号 監査委員の選任	議案第65号 監査委員の選任	議案第66号 公平委員の選任	議案第67号 教育委員の選任
井上智章	○	○	○	○	○
別府 直	○	○	○	○	○
丸岡弘満	○	○	○	○	○
小谷安富	○	○	○	○	○
繁田 基	○	○	×	○	×
土本昌幸	○	○	×	○	×
高橋佐代子	×	○	×	○	×
黒田秀一	○	○	×	○	×
吉田 稔	○	○	×	○	×
後藤千明	議長	議長	議長	議長	議長
森元清蔵	×	○	×	○	×
井上芳弘	○	○	議員自身の案件で退席	○	○
西川正一	○	○	○	○	○
三宅利弘	×	○	×	○	×
高見 忍	×	○	×	○	×
森田博美	×	○	×	○	×
桜井光男	×	○	×	○	×
山下光昭	○	○	○	○	○
採決結果	同意 (賛成11、反対6)	同意 (賛成17、反対0)	不同意 (賛成6、反対10)	同意 (賛成17、反対0)	不同意 (賛成7、反対10)

■人事案件の賛否について

9月定例会市議会の初日に提案した人事案件5件は、3議案が同意され、2議案が不同意となりました。

まず、東郷邦昭副市長の再任については、反対議員もありましたが、過去4年間の副市長としての実績を評価され、採決の結果、同意されました。先日も豊岡市の副市長全国公募が話題になりましたが、これは加西市の公募制度に倣ったものです。4年前に副市長（当時は助役）と教育長を同時に全国公募した加西市の事例が、今後も徐々に全国の自治体に広がっていくのではないかと考えています。

次に、代表監査委員として小谷融氏が再任されました。続いて、井上芳弘氏を議員枠の監査委員に選任するべく議会の同意を求めましたが、残念ながら不同意となりました。大会派に所属する議員を監査委員とし、かつ一年毎に交替する加西市議会のこれまでの慣行は早期に改め、最適任者が選ばれるべきであると私は前々から主張しています。そして、市民の視点で公正かつ適切な監査ができる議員を監査委員に選んでほしいと議会に再三要請し、当時の正副議長も次回から慣例は改めると表明されたので、私も前回は議会の意を汲んで指定された議員を上程し、同意された経緯があります。

公平委員としては是常耕作氏を選任することについては、お陰様で全会一致で同意されました。

他方、加西市と包括協定を締結している兵庫教育大学大学院准教授の笠沙知章氏を教育委員候補として上程しました。けれども、加西市民でない方の教育委員就任には賛成できないとする反対議論がなされ、誠に残念ながら不同意となりました。6月議会では加西市民である岡臣子氏を不同意、そして9月議会では加西市民でないことを理由に笠沙氏を不同意とされました。いずれも人格識見が高く、教育に大いなる情熱をお持ちの御二人です。

こういう事態が今後も続くと、高い志と尊い奉仕精神をもって市政に協力しようとする有為な人材の応募が激減する恐れもあり、加西市の公募制度が瓦解しかねないと、私は憂慮しています。 (市長)

加西市事業仕分け 2009 を実施しました

市役所改革の一環として8月8日、「事業仕分け」を昨年に引き続き健康福祉会館で開催しました。

■事業仕分けとは

行政改革の手法の一つで、現在、市が実施している事務や事業について、「本当に市にとって必要か」「民間に任せてもできるのでは」「やり方を変えるべきでは」といった視点で業務のあり方を根本から検討し直すものです。また、一般に公開することにより、広く事業の説明責任を果たす役割も担っています。

仕分け委員は、他の自治体職員等による外部委員5名と市民委員5名、進行を行うコーディネーターの計11名で構成し、判定を行いました。



1事業につき、説明5分、討論30分、判定5分を目安に議論。積極的な意見交換が行われました。

■判定結果と議論の要旨

今回は、次の6事業について「事業仕分け」を行いました。市はこの判定結果を踏まえ、必要に応じて市民の皆様の声聞きながら、より良い行政サービスの提供、事業のコスト削減と効率化等の市政改革を推進します。

コミュニティバス（市街地循環線）

福祉目的か交通不便対策かを明確にする必要がある。病院へのバスには乗車率が低い。乗車人員の減少の理由等について分析を行い、市民に説明するべき。病院専用無料券の廃止やデマンド交通導入を検討してはどうか。

■判定：市が継続（ただし要改善）

市民会館管理運営事業

早急に耐震診断結果と改修費用を公表し、5万人の市に1000人規模の大ホールが必要かどうかの全市民的な議論を行うべき。市民を含めた検討委員会を設置し、他の施設への機能分担、統合を行う施設仕分けを実施してはどうか。

■判定：市が継続（ただし要改善）

給与計算事務

現状で努力の成果が伺え、経費はできる限り削減されている。あとは正規職員の仕事を臨時職員等にどれだけ移行させることができるかである。更に幅広い視野で他市との連携や、庁内事務の統合等で民間委託を検討してはどうか。

■判定：市が継続（現行どおり）

【問合先】 経営戦略室 ☎48700 ※仕分け結果の詳細は、加西市ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

■地上デジタル放送を見るための簡易なチューナー給付などを支援

総務省では、経済的な理由などで地上デジタル放送を見ることができない世帯（具体的には生活保護などの公的扶助を受けている世帯等で、NHK受信料全額免除となっている世帯の方々を対象です）に対して、簡易なチューナーを無償給付するなどの支援を、本年10月1日から開始します。

※支援の申込みには、NHKと受信契約を結び、全額免除の適用を受けることが必要です。

※支援は現物給付ですので、ご自身で購入されたチューナー、アンテナ改修等の費用を清算することはできません。

問合先：総務省 地デジチューナー支援実施センター ☎0570-033840

